

**No.42 2023年9月10日**

三位一体後第十四主日礼拝  
 説教『体の癒しを超え、存在の癒しにまで』

山根眞三師  
 司会 市川真美恵さん  
 奏楽 山根由美子さん  
 招詞 ローマ人への手紙8章14～17節  
 の祈 (564)  
 讃詠 5 4 6  
 交読詩編 詩 1 6 編  
 祈禱 美歌 21 - 1 1  
 使徒信條 (566)  
 聖書 ルカ福音書17章11～19節  
 説教 (口語訳118頁、新共同訳142頁)

『体の癒しを超え、存在の癒しにまで』

祈禱 美歌 3 5 2  
 献金 謝告  
 報栄 5 4 3  
 頌禱 奏

次週の礼拝(三位一体後第十五主日礼拝)  
 説教『今日一日を感謝して歩む恵み』  
 マタイによる福音書6章25節～34節  
 招詞 I ペテロ書5章6～9節/交読詩篇79編  
 讃美歌 546、21-454①⑤⑦、217、544

礼拝当番  
 今週 10日 司会 市川さん 献金 神笠さん  
 次週 17日 司会 根角さん 献金 長本英さん  
 会堂清掃奉仕 9月15日(金)  
 午後4時～ めぐみ幼稚園保育者

**本日の集会**

★教会学校 午前9時45分  
 ★出会いのひととき 礼拝後～  
 それぞれの思いを語り合しましょう。

**今週の集会/スケジュール**

- §広島拘置所教誨奉仕 9月13日(水)13:30～16:00  
 施設にある方の信仰生活を覚えてお祈り下さい。
- §広島県教誨事業後援会総会 9月14日(木)15:00～16:30  
 会場：広島刑務所
- めぐみ幼稚園入園願書配布 9月15日(金)9:00～  
 新年度の願書配布が始まります。覚えてお祈り下さい
- めぐみ幼稚園礼拝 9月15日(金)10:30～

**次週以降のスケジュール等**

- レコードコンサート 9月17日(日)13:00～15:30  
 ヴィヴァルディ バイオリン5声のための協奏曲ホ長調  
 " 「恋人」、二長調「不安」、4声のための協奏曲  
 " シンフォニア聖墓のそばで  
 " 合奏協奏曲集「四季」、
- めぐみ幼稚園わくわく実験室 9月26日(月)10:00～  
 長本さんとの楽しいひとときを持ちます。
- §広島拘置所教誨奉仕 9月28日(水)13:30～16:00  
 施設にある方の信仰生活を覚えてお祈り下さい。
- めぐみ幼稚園願書受付 9月30日(金)10:00～
- ◎小野紀美子さん 12日に退院される予定です。  
 ご家庭での療養を覚えお祈り下さい

**◎ 9月教会役員会報告**

1. 教区通信により教区内の情報を交換した。
  2. 10月の世界聖餐日。11月聖徒の日に聖餐式執行。
  3. 6、7月分会計報告を承認した。
  4. 幼稚園の経営状況について協議した。
- (司会当番)9/17 根角さん、9/24 高橋さん、10/1長本英さん、  
 10/8 長本和さん、10/15 神笠さん、10/22 吉丸さん、10/29、

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	0
主日礼拝	3	7	10

◇今週の説教要旨(三位一体後第十四主日礼拝)  
 『体の癒しを超え、存在の癒しにまで』ルカ17:11～19  
 聖書の古い翻訳ではライ病と訳されていたところが新しい翻訳では重い皮膚病とされている。差別や不適切な対応だとそうになっているのだが、果たしてそれで良いのだろうか。言葉には差別を生みだす表現もあるが、そこに示される人の苦しみや悲しみが読み取れることもあるものだ。人の差別の歴史が染みこんだ言葉がライ病という言葉だ。重い皮膚病と訳されている言葉の背後にある当事者の苦しみ、悲しみへの理解を持ちたいものだ。同じ病気の人が一般社会から隔離され、しかも集団でいる。その異常性が考えられる。しかも普通なら決して共同生活をしないユダヤ人とサマリア人がここではそれが実施されているのだから。私たちはこれをハンセン病と理解してよいだろう。NHKの番組で100分de名著という番組でハンセン病だった方が「いのちの初夜」という作品を著していることを知った。当事者の心の葛藤等が表現された秀作だ。これらを読めば当事者の生活や思いを少しだけ理解できるだろう。10人がイエスが来られることを知った。まさか自分達の近くに？これまでの彼らの歩みを少し考えればその喜びは私たちの想像を遥かに超えたものだっただろう。聖書の描写はとても冷静だが、彼らは大声を張り上げた。あわれんで下さいと。イエスは彼らをしっかりと見た。イエスの心は激しく動いたのはいだろうか。ただ単に祭司のところに行って体を見せるようにとだけ語った。10人はイエスが求める真意を理解したのだろう。社会的にはこの病気は医学だけではなく、宗教的宣言を必要とした。即ち祭司が癒しを宣言。9人のユダヤ人はそれだけで十分だったのだろう。イエスに感謝しに戻ってきたのは、サマリア人だけだった。彼も9人と同様に戻らなくても良かった。でも彼だけは神を賛美するためにイエスのところに戻った。安心な歩みが続くだろう。